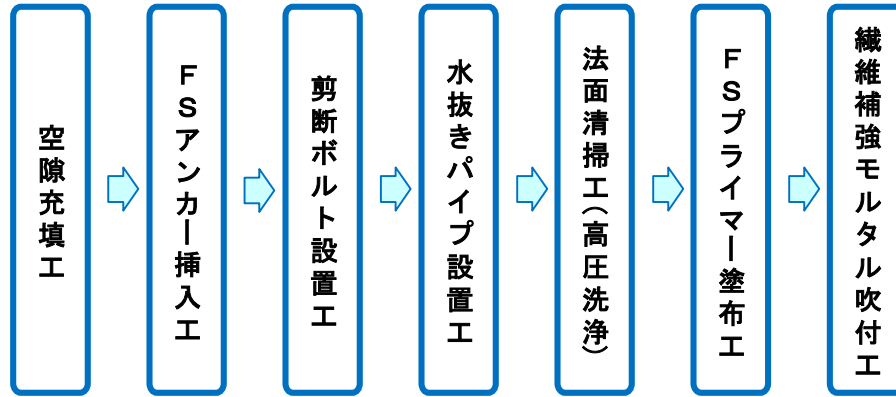


施工手順例



※吹付面の状況に応じ、施工手順は変更することも可能である。

専用部材

せん断ボルト



芯材 M12×100mm
(SWCH材又は相当材)
定着具 □50×50×6t
(SuperDyma®)

PPファイバーI



素 材 ポリプロピレン100%
(扁平エンボス加工)
公称繊維径 1.0mm
繊維長 30mm
密 度 0.91g/cm³
引張強度 500N/mm²以上
混入率 1.0vol% (9.1kg/m³)

FSアンカー



FSアンカーⅠ (D19, L=0.6m)
FSアンカーⅡ (D19, L=1.0m)
FSアンカーⅢ (D19, L=2.0m)
定着具 ウェッジプレート (SuperDyma®)

FSプライマー



主成分 酢酸ビニル・エチレン
共重合高分子樹脂
外 観 白色の乳化液

施工事例



老朽化吹付面補修・補強工

ファイバーショット®工法

斜面防災・緑化工協会

Slope Disaster Prevention and Greening Association

事務局 〒310-0903 茨城県水戸市堀町959番地
株式会社水戸グリーンサービス内
TEL:029(225)2754 FAX:029(227)2783
E-mail:info@sdp-g.jp URL:http://www.sdp-g.jp

斜面防災・緑化工協会

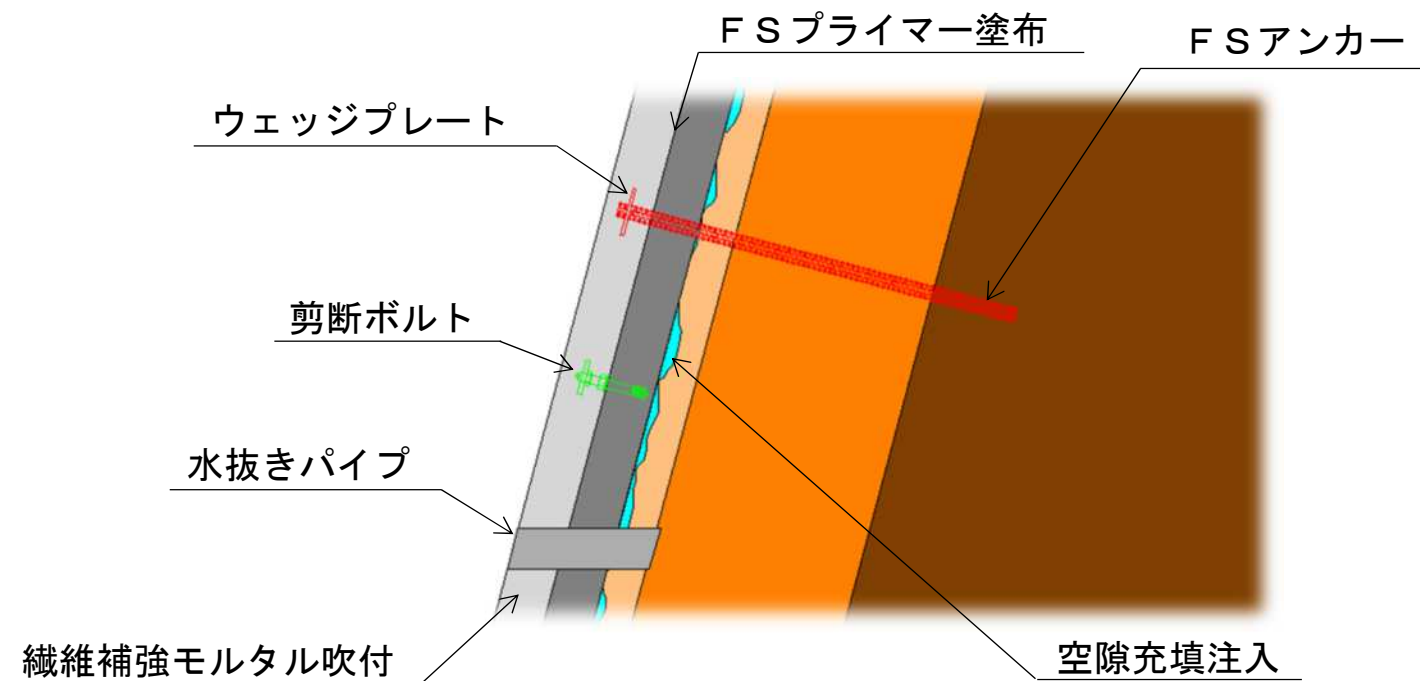
Slope Disaster Prevention and Greening Association

ファイバーショット工法とは

既設吹付面上に新設吹付面を重ねて増厚被覆する等で機能回復し、延命化に貢献する補修・補強工法である。

- ✓ 老朽化した吹付面を取り壊さず対策可能
→金網を含んだモルタル・コンクリート殻の発生を徹底抑止
- ✓ せん断ボルト、FSアンカーを設置し、更にプライマーを塗布することで、既設吹付面と新設吹付面（短繊維補強モルタル）とを一体化
- ✓ 既設吹付面背面の空隙(空洞)部にセメントミルクを注入して地盤との密着性を回復
- ✓ FSアンカーを設置して吹付面の滑動を防止すると共に風化作用で強度劣化した地盤を補強
- ✓ 新設吹付面はPPファイバーI（ポリプロピレン短繊維材）を混入して造成。ひび割れと剥離を大幅に抑制し、耐用年数向上に寄与
- ✓ 従来対策に比し、仮設費・処分費を大幅に削減し、安全かつ短期に施工可能

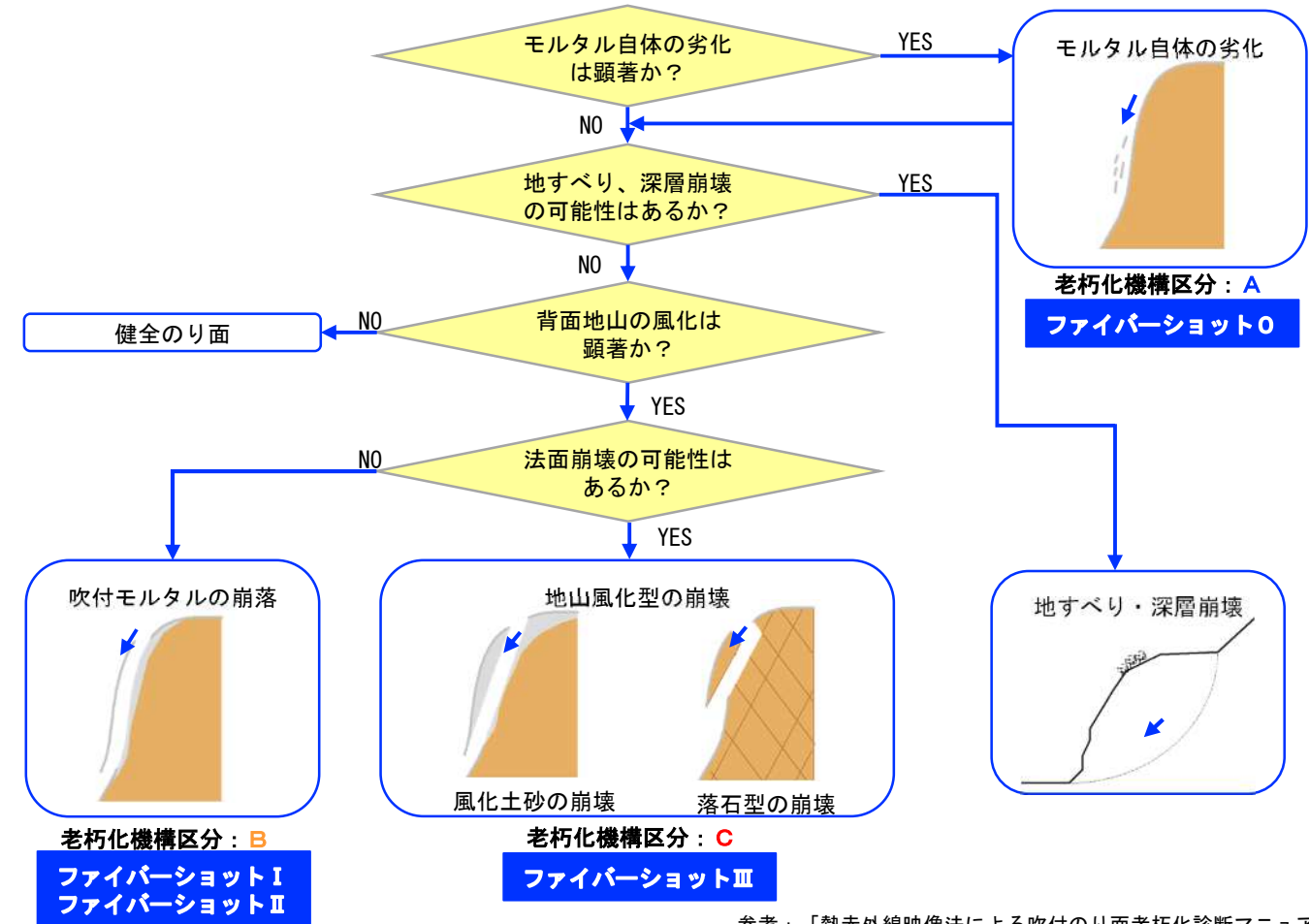
ファイバーショット工法断面模式図



繊維補強モルタル配合例

繊維補強モルタル吹付配合表							
短繊維の種類	短繊維の素材	短繊維の混入率 (vol%)	水セメント比 W/C (%)	単用量 (kg/m³)			
				水 W	セメント C	細骨材 S	短繊維 (PPファイバ®-I) F
有機繊維	ポリプロピレン	1.0	50	210	420	1680	9.1

選定フロー



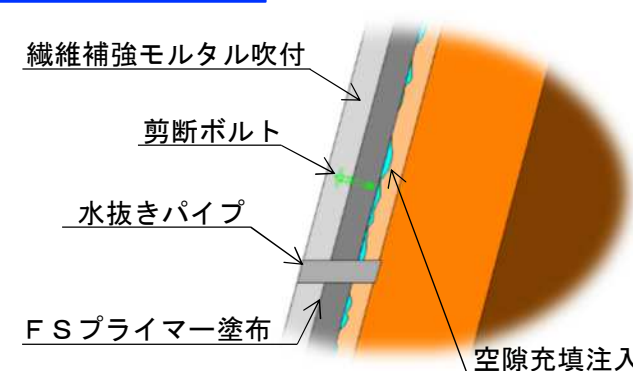
参考：「熱赤外線映像法による吹付のり面老朽化診断マニュアル」
吹付のり面総合評価フローに加筆修正

吹付のり面の老朽化機構区分

A	B	C
吹付自体の劣化	吹付と地山の密着性低下	背面地盤の強度低下
<ul style="list-style-type: none"> ひび割れ 表面剥離 	<ul style="list-style-type: none"> 法肩部のひび割れ 吹付面の滑動 法尻部のひび割れ 背面空洞 せり出し 	<ul style="list-style-type: none"> 開口ひび割れ はらみ出し 開口ひび割れ 土圧の作用 円弧すべりの発生

タイプ概要

ファイバーショット0



ファイバーショットI/ファイバーショットII/ファイバーショットIII

